



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4420 URL https://www.esol.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 落合 藤夫 TEL 03-5365-1560  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,433	0.9	215	△26.0	223	△24.8	203	△2.7
2019年12月期第1四半期	2,411	—	291	—	297	—	209	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 164百万円 (△30.2%) 2019年12月期第1四半期 235百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	10.00	—
2019年12月期第1四半期	10.28	—

(注) 1. 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 2. 2018年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、2019年12月期第1四半期の対前年四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	6,964	5,180	74.4
2019年12月期	6,686	5,128	76.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 5,180百万円 2019年12月期 5,128百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	5.50	5.50
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	1.50	—	4.00	5.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 2019年12月期期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 記念配当1円50銭（東証一部市場変更記念配当）

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,973	3.4	200	△51.7	399	△23.1	295	△18.3	14.54
通期	10,539	9.3	598	△20.0	805	△7.2	591	△10.3	29.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	21,460,800株	2019年12月期	21,460,800株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	1,119,487株	2019年12月期	1,119,464株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	20,341,320株	2019年12月期 1 Q	20,341,396株

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度におけるわが国経済は、当初、景気は緩やかな回復が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により先行き不透明な状況となりました。

当社グループの組込みソフトウェア事業がターゲットとして注力している自動車市場では、CASE（Connected つながる車、Autonomous 自動運転、Shared & Service シェアリングサービス、Electric 電動化）と呼ばれる領域が進展しており、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場では、食肉相場の変動や原材料価格の上昇など、企業収益に不安定な要素があります。

このような環境の中、当社グループは自動車関連業界をメインターゲットと位置づけ、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。食肉市場並びに倉庫・物流業界に対しては、指定伝票発行用車載プリンタ（以下「車載プリンタ」）並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,433百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は、自社製品への開発投資の増加により215百万円（同26.0%減）、経常利益223百万円（同24.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益203百万円（同2.7%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (組込みソフトウェア事業)

当事業は、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品RTOS（リアルタイム・オペレーティング・システム）の開発・販売、受託開発を主に行っておりますが、自動車向けが伸び悩みました。その結果、売上高2,186百万円（前年同期比4.2%減）及びセグメント利益147百万円（同52.4%減）となりました。

また、当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は440百万円（同1.3%減）、エンジニアリングサービス等は1,746百万円（同4.9%減）となっております。

#### (センシングソリューション事業)

当事業は、冷蔵・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売や、新たなセンサネットワーク関連ビジネスを進め、自社製ハンディターミナルの販売が伸張しました。その結果、売上高210百万円（前年同期比57.1%増）及びセグメント利益30百万円（前年同期はセグメント損失14百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,979百万円となり、前連結会計年度末に比べて170百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が123百万円、商品及び製品が63百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は985百万円となり、前連結会計年度末に比べて107百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が75百万円、投資その他の資産が23百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,964百万円となり、前連結会計年度末に比べて277百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,525百万円となり、前連結会計年度末に比べて245百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が119百万円、賞与引当金が148百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は258百万円となり、前連結会計年度末に比べて20百万円減少いたしました。これは主に資産除去債務が27百万円、その他の固定負債が98百万円それぞれ増加した一方、役員退職慰労引当金が107百万円、持分法適用に伴う負債が38百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,783百万円となり、前連結会計年度末に比べて225百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,180百万円となり、前連結会計年度末に比べて52百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が91百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が38百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月14日の「2019年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症による業績予想への影響ですが、先行きが不透明であり、現時点で合理的に見積ることは困難であります。今後、業績に大きな影響が及ぶ場合にはお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,891,502	4,014,935
受取手形及び売掛金	1,483,964	1,489,478
商品及び製品	79,431	142,686
仕掛品	168,954	172,012
その他	185,441	160,226
流動資産合計	5,809,293	5,979,339
固定資産		
有形固定資産	166,475	241,622
無形固定資産	71,421	80,933
投資その他の資産	639,527	662,585
固定資産合計	877,424	985,141
資産合計	6,686,718	6,964,481
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	460,927	580,878
未払法人税等	105,506	95,286
賞与引当金	49,238	197,379
受注損失引当金	2,760	449
その他	661,323	651,242
流動負債合計	1,279,756	1,525,235
固定負債		
役員退職慰労引当金	107,894	—
資産除去債務	40,579	68,500
持分法適用に伴う負債	86,453	47,905
その他	43,740	141,893
固定負債合計	278,667	258,299
負債合計	1,558,424	1,783,534
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	942,093	942,093
利益剰余金	3,077,812	3,169,439
自己株式	△85,280	△85,340
株主資本合計	4,976,444	5,068,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,520	114,296
繰延ヘッジ損益	289	—
為替換算調整勘定	△960	△1,361
その他の包括利益累計額合計	151,849	112,935
純資産合計	5,128,294	5,180,946
負債純資産合計	6,686,718	6,964,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	2,411,766	2,433,580
売上原価	1,627,822	1,620,240
売上総利益	783,944	813,339
販売費及び一般管理費	492,078	597,406
営業利益	291,865	215,932
営業外収益		
受取利息	24	22
助成金収入	3,197	5,578
その他	2,200	1,932
営業外収益合計	5,422	7,533
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	297,288	223,466
特別損失		
固定資産除却損	465	—
特別損失合計	465	—
税金等調整前四半期純利益	296,822	223,466
法人税、住民税及び事業税	60,236	81,229
法人税等調整額	27,478	△61,267
法人税等合計	87,714	19,961
四半期純利益	209,107	203,504
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,107	203,504

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	209,107	203,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,125	△38,224
繰延ヘッジ損益	775	△289
為替換算調整勘定	△278	△400
その他の包括利益合計	26,621	△38,914
四半期包括利益	235,729	164,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235,729	164,589



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフトウェア事業	センシングソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,280,552	133,867	2,414,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,224	—	1,224
計	2,281,776	133,867	2,415,643
セグメント利益	309,238	△14,719	294,518

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	2,415,643
セグメント間取引消去	△1,224
未実現利益の調整額	△2,653
四半期連結損益計算書の売上高	2,411,766

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	294,518
未実現利益の調整額	△2,653
四半期連結損益計算書の営業利益	291,865

当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフトウェア事業	センシングソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,184,700	210,331	2,395,032
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,887	-	1,887
計	2,186,588	210,331	2,396,920
セグメント利益	147,063	30,321	177,384

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	2,396,920
セグメント間取引消去	△1,887
未実現利益の調整額	38,548
四半期連結損益計算書の売上高	2,433,580

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	177,384
未実現利益の調整額	38,548
四半期連結損益計算書の営業利益	215,932